

児童発達支援 事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和4年3月31日配布開始

事業所名: 児童発達・放課後等デイサービス たんぽぽ

区分	チェック項目	はい	いいえ	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		運営基準は満たしていますが、動きの中で狭いことを感じることもあります。
	2 職員配置数は適切であるか	○		職員の欠勤が重なった場合の対応は課題である。
	3 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○		絵カードを用いて理解しやすいように構造化を行っています。今後は、絵カードを利用しておもちゃのお片付けがしやすいようにもっと工夫を凝らしてきます。エレベーターの設置(事業所は2階)や遊具を置いてある倉庫以外に段差もなく配慮をしています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○		日々の清掃は丁寧に行っている。また、窓面も多く、開放的な雰囲気でもある。
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○		その都度、ミーティングの中で互いの気づきを共有し、改善を進めています。急な用事等で参加できていない職員も後日、確認できるよう議事録を作成しています。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○		定期的に3月中に報告を行っています。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○		3月中に評価報告を行い、新年度に向けて今後はホームページ等で公開を検討していきたいと考えています。
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○	今後の検討事項として考えていきたいと思えます。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		今年度はオンラインでの研修を中心に学びの時間を作っています。
	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○		契約時にアセスメントを丁寧に行い作成しています。今後は密に保護者様と支援内容についてお話していきます。
	11 子どもの適応行動の状況を計るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○		市等で行われている発達検査等を用いて、外部の専門家の視点を取り入れています。今後、詳細を学べるように研修を企画していきます。

区分	チェック項目	はい	いいえ	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		契約時にアセスメントを丁寧に行い計画の、作成を行っています。今後は密に保護者様と支援内容についてお話していきます。
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○		
	14 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		この部分については開所後徐々に定着が図れてきています。支援前から話し合い、当日の内容を検討しています。ご本人の体調や天気等で予定変更があった場合はその都度、担当職員が活動内容を変更しています。
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	○		好きな活動を中心にプログラムの組み立てを行っています。また、出来ることをのばしていくことの視点を大切に計画作成を行っています。
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		送迎前に打ち合わせを行っています。シフトの関係上で勤務開始時間に差がある時は業務連絡帳やメモを通じて対応しています。
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		シフトの状況によりすぐに相談ができないこともあるが、引継ぎノート等での工夫を行っている。
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		毎回の支援に関して記録をしています。こちらに基づいて評価・改善をして次の計画作成やケース会議時、移行支援等に活かしていきます。
	20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか		○	年2回のモニタリングを基本としています。状況によっては、早期のモニタリングも必要と感じています。
	関係	21 障害児相談支援事業のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしいものが参画しているか	○	
22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか		○		
23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか			○	現時点での利用の方は在籍されていますが、職員間で法令等について次年度は学びを深めていきたいと考えています。
24 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか			○	

区分	チェック項目	はい	いいえ	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
機関や保護者との連携	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		機会自体は少ないものの、今後は積極的なアプローチを行っていききたい。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		引き継ぎシートを独自に作成し、保護者様を通じて学校の先生にお渡しいただきました。必要な情報共有は今後もしていきます。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		併行利用児の方に関しては連携をしています。必要性に応じてその都度連携していきます。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○	今後は法人として地域の支援で検討をしていきたいと考えています。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか		○	今後は前向きに検討していく課題と捉えています。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		ご本人の様子は、送迎時の引き継ぎや連絡帳等を用いて情報共有を行っています。また家庭の中で気になることも連絡帳を通じて伝えていただいています。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか		○	1事業所だけでは難しい課題でもあり、地域での課題として発信していききたい。
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		契約時に重要事項説明書を用いて詳細説明を行っています。利用者負担実費徴収については現在検討を行っています。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○		ガイドラインの読み合せは終了しているが、内容把握しやすいように別紙等で書面に取り入れていきます。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		随時行っているつもりですが、希望ありましたら面談の機会を増やしていける検討中です。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会などを開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○	ご家庭からの要望もあり、今後は定期的に意見交換等を行える場を作ればと考えています。
	36	子どもや保護者からの苦情について、対応の体勢を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		担当毎に職員配置をしています。第三者委員の設置も完了しています。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか		○	現時点では会報の発行はできていません。
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○		職員に周知しています。鍵付きの書庫に入れて書類を保管するよう努めています。

区分	チェック項目	はい	いいえ	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	39 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		絵カードで内容をお見せして伝えたり、他事業所で学ばれている簡単なマカトンサインをこちらでも行うことで伝達方法の共有もしています。
	40 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○	次年度は地域での公益活動として地域での活動を計画しています。
非常時などの対応	41 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか		○	職員がいつでも閲覧できるよう事務所で管理していますが、詳細内容の周知を徹底していきます。
	42 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		防火訓練を行いました保護者様に周知を行っていませんでした。今回は初めての訓練のため、職員のみ。次回以降は利用児童さん達と一緒に順番に行っていきます。その他の非常災害訓練も今後検討していきます。
	43 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○		独自に「発達記録」用紙を作り、生育歴・病歴等は伺っています。予防接種等については、今後検討していきます。
	44 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○	現時点で食物アレルギーのある方がいらっしゃいませんが、今後アレルギーをお持ちの方がご利用になられたら保護者様に内容を詳細に伺っていき、医師とお話する機会をいただきます(調理設備がないこともあり昼食はお弁当持参(火～金曜日)いただいています(見学时にその旨お伝え承りいただいています)
	45 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		ヒヤリハットの記入により職員間で共有を図っています。今後はその書面の活かし方について検討をしていきたいと考えています。
	46 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		定期的に内部(法人本部・たんぽぽ内)・外部共に研修の機会を行っています。各職員の倫理観の向上を目指します。
47 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか		○	現時点で身体拘束の必要性がある方がいませんが、必要になった場合の配慮を行っています。	